

# 埼玉住み心地の 第16回 良いまち大賞

審査委員長 講評

埼玉住み心地の良いまち大賞は今年で16回目を迎えることができました。今回は新型コロナウイルス感染症の流行により表彰式の開催は叶いませんでしたが、それでも「まち」への思いがこもった作品が939点集まりました。作者はもちろん、作品を私たちに届けてくださる小中学校の先生や親御様、そして協賛企業の皆様のご協力の賜物です。お礼申し上げます。

さて、埼玉県知事賞に選ばれた作品は、太田遥子さん（中学2年生）の「身近にマイスター☆のいるまち浦和」です。また、埼玉県教育委員会教育長賞に、奥田愛嘉さん（中学1年生）の「旧大井町「みち」でみんなが元気なまち」、協議会会長賞に、金井一真さん（小学5年生）の「ここは生き物いっぱい子供の楽園巾着田」と、佐藤友芽さん（中学2年生）の「ものづくりのまち川口市～職人プライドが生み出す川口ブランド～」の2点、そして審査委員長賞には、後藤優斗さん（小学4年生）の「自然がいっぱい 小川町」と、南雲花菜さん（中学2年生）の「鴻巣の8つの日本一」の2点が選ばれました。加えて、優秀賞と協賛企業賞がそれぞれ30点ずつ選ばれました。

特に、埼玉県知事賞に選ばれた太田さんの作品は「マイスター」をテーマにした目の付け所が素晴らしく、作者自ら丁寧に取材をしている様子が目に浮かびました。

また、埼玉県教育委員会教育長賞に選ばれた奥田さんの作品も「みち」というおもしろいテーマでまちの魅力を引き出しています。まちの中にある様々な「みち」の描写が作中の地図とうまくつながっていて、その表現方法にも感心しました。

今回入選した作品はどれもテーマや表現方法に工夫を凝らしていて、見ていて楽しい気分させてくれるだけでなく、作者が慣れ親しんだまちの新しい魅力を見つけたことが伝わってきます。皆様も作者の発見に共感されたなら、縁のある「まち」をもう一度調べてみてはいかがでしょうか。

最後にあらためて本賞に関わる皆様全員にお礼を申し上げるとともに、これからも埼玉県住まいづくり協議会の活動へご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

審査委員長

埼玉新聞社代表取締役社長 関根 正昌

後援 埼玉県 埼玉県教育委員会  
協賛

OKUTA 近藤建設株式会社 埼玉県住宅供給公社 一般財団法人 さいたま住宅検査センター

住協／住協建設

昭栄建設グループ

住まい協賛企業  
POLUS  
ボラスグループ  
第一エネルギー設備株

住まい協賛企業  
TAKASAGO 高砂建設  
Original Housing

住まい協賛企業  
POLUS  
ボラスグループ  
株式会社中央住宅

住まい協賛企業  
POLUS  
ボラスグループ  
株中央ビル管理

エネルギー・フロンティア  
TOKYO GAS

住まい協賛企業  
POLUS  
ボラスグループ  
ボラス株式会社

住まい協賛企業  
POLUS  
ボラスグループ  
株ボラスのリフォーム

株式会社リゾン

YKK  
ap

埼玉住み心地の 第17回

# 良いまち大賞

## 作品募集

歴史のあるまち、自然が残るまち、安全なまち  
あなたの目線で、「あなたの良いまち」を紹介してください。

応募案内 2022 年 5 月以降

連絡先：埼玉県住まいづくり協議会事務局 TEL 048-830-0033

良いまち大賞

検索

